【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成25年1月24日(2013.1.24)

【公開番号】特開2011-118112(P2011-118112A)
【公開日】平成23年6月16日(2011.6.16)
【年通号数】公開・登録公報2011-024
【出願番号】特願2009-274597(P2009-274597)
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｇ　15/08　(2006.01)
Ｇ０３Ｇ　15/00　(2006.01)
Ｇ０３Ｇ　21/18　(2006.01)
Ｆ１６Ｃ　13/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｇ　15/08　５０１Ｄ
Ｇ０３Ｇ　15/00　５５０
Ｇ０３Ｇ　15/00　５５６
Ｆ１６Ｃ　13/00　Ａ
Ｆ１６Ｃ　13/00　Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成24年12月3日(2012.12.3)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
導電性軸芯体、弾性層および表面層を有する弾性ローラにおいて、該弾性層が、分子内にポリアルキレン構造及び一般式（１）で示されるシロキサン構造を有するシロキサン変性ゴムと、シリコーン油と、を含有していることを特徴とする弾性ローラ。
【化１】

一般式(1)

（一般式（１）中、ｍは１から２０の整数であって、Ｒ[1]及びＲ[2]は各々独立して飽和炭化水素基、水素原子あるいは不飽和炭化水素基である。）
【請求項２】
前記シロキサン変性ゴムが、前記一般式（１）で示されるシロキサン構造を分子内に有するエチレン－プロピレン－ジエンゴムである請求項１に記載の弾性ローラ。
【請求項３】
前記シロキサン変性ゴムが、前記一般式（１）で示されるシロキサン構造をグラフトさ

せてなるエチレンープロピレンージエンゴムである請求項２に記載の弾性ローラ。
【請求項４】
前記Ｒ[1]及びＲ[2]が各々独立してメチル基、水素原子またはビニル基である請求項１～３のいずれか一項に記載の弾性ローラ。
【請求項５】
現像ローラと感光体ドラムとを有し、これらが一体化して、電子写真画像形成装置の本体に脱離可能に構成されている電子写真プロセスカートリッジであって、
該現像ローラが請求項１～４のいずれか一項に記載の弾性ローラであることを特徴とする電子写真プロセスカートリッジ。
【請求項６】
現像ローラと感光体ドラムとを有している電子写真画像形成装置において、該現像ローラが請求項１～４のいずれか一項に記載の弾性ローラであることを特徴とする電子写真画像形成装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４６】
［実施例２～６］
シロキサン変性ゴムとして、実施例１で用いたシロキサン変性ゴムにおけるグラフトさせた構造を、下記一般式（２）で示され、かつ、Ｒ１、Ｒ２及びｍを下記表２に示した構造に変えたシロキサン変性ゴムを用いた。それ以外は実施例１と同様にして弾性ローラを製造し評価した。
【化２】
一般式（２）

